

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子ども虐待防止事業			事業番号	014-057
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実
		有	取組の方向性	③重大な児童虐待ゼロをめざした取組			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(16)平和と公正をすべての人に	ターゲット	16.2	
		有	取組	児童虐待の防止に向けた取組の強化			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画					
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、堺市子どもを虐待から守る条例					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	①子ども虐待防止に関わる関係機関と②市民			対象数	単位	
					①39 ②823,731	①団体②人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子ども虐待の未然防止、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの保護とその保護者への指導、支援					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	◎関係機関の連携・・・市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修の実施等を行う。 ◎虐待防止等の啓発・・・虐待に関する理解や認識を深め、虐待に気づいた際に、どこへ相談・通告したらよいのかを幅広く周知するための啓発を行う。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
11	定性的な成果目標	虐待の未然防止および重篤化防止に向けた関係機関による早期発見・早期対応				
	当該目標を設定した理由	重大な児童虐待ゼロのために必要な取組のため。				
	目標に対する実績	オレンジ・パープルリボンキャンペーン等の啓発活動、虐待相談対応、ケース連絡会、個別ケースカンファレンスの実施。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	虐待相談対応件数	件	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	3,325	3,273	
達成率	—	—				
	当該指標を選定した理由	早期対応及び継続的な支援により児童虐待の重篤化を防止することに寄与するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	現状把握の指標として設定しており、対応件数の増加をめざしているのではないため、目標値は設定しない。				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子ども虐待防止事業	事業番号	014-057
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	15,330	15,929	21,786	20,121	28,883
13財源内訳					
国支出金	498	1,940	4,140	3,494	7,500
府支出金	99	31	168	51	117
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	14,733	13,958	17,478	16,576	21,266
14人件費 (b)	9,900	10,000	10,000	10,000	10,000
15年間経費(c)=(a)+(b)	25,230	25,929	31,786	30,121	38,883

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	決算	10,674	10,674			R3	決算	213	107	
16事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R4	予算	10,767	10,767	通信運搬費	R4	予算	277	191	
		R3	決算	1,802	1,802		オレンジリボンキャンペーン推進事業委託料	R3	決算	231	116
	R4	予算	2,111	2,111	R4	予算		242	121		
	期末手当(会計年度任用職員)	R3	決算	526	526	児童虐待LINE相談に要する他市への負担金	R3	決算	6,000	3,001	
		R4	予算	732	732		R4	予算	13,068	6,534	
	費用弁償(通勤費)	R3	決算	307	154	会場等借上料	R3	決算	73	73	
		R4	予算	50	25		R4	予算	44	14	
	消耗品費	R3	決算	140	71	その他(費用弁償等)	R3	決算	155	52	
R4		予算	1,165	608	R4		予算	427	163		
印刷製本費	R3	決算									

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 虐待相談対応件数	件	3,325	3,273
② 上記①にかかる年間経費	千円	25,929	30,121
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	7,798	9,203
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>児童虐待対応件数は微減・横這いの傾向となっており、依然個々の相談、通告に対し緊張感を持った対応が求められる。</p> <p>令和2年度に試行実施したSNSを活用した児童虐待防止相談事業を、令和3年度は本格実施したことで年間経費が増加しているが、子育てに悩みを抱える保護者等が相談につながることで、虐待の未然防止につながっている。</p> <p>今後も対面だけでなくさまざまなツールを活用した相談対応のニーズは増加すると思われ、虐待防止のため、費用対効果は得られていると考えている。</p>
----	---

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>重大な児童虐待ゼロをめざした取組として、堺プレイヤーの協力による啓発活動等といった市独自の啓発活動をはじめ、オール大阪での児童虐待防止の取組や近畿2府4県4政令指定都市との共同取組等の広域での児童虐待防止の取組を連携して行っている。また、市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修等の実施を行っている。</p> <p>さまざまな取組を行うことで、子ども虐待の未然防止及び虐待を受けた子どもの見守りや保護、保護者への指導・支援をすることで、子どもが安心安全な環境で、出来る限り家庭での生活を送れるよう支援することに繋がっている。</p>
----	--